

# 会 議 録

会 議 名	第2回知立市総合公共交通会議
日 時	平成29年8月29日 (火) 午後2時00分 ~ 3時30分
場 所	中央公民館 中会議室
次 第	<p>1.開会</p> <p>2.あいさつ</p> <p>3.報告事項</p> <p>(1) ミニバスの利用について <span style="float:right">【資料1】</span></p> <p>(2) 平成29年10月1日からの運行事業者について <span style="float:right">【資料2】</span></p> <p>(3) 中型バスの購入について <span style="float:right">【資料3】</span></p> <p>(4) ミニバスガイドの発行について <span style="float:right">【資料4】</span></p> <p>4.協議事項</p> <p>(1) 地域公共交通網形成計画基礎調査の実施について <span style="float:right">【資料5-1~資料5-3】</span></p> <p>(2) 知立市総合公共交通会議事務局規程(案)について <span style="float:right">【資料6】</span></p> <p>5.その他</p> <p>6.閉会</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第、委員名簿、座席表</li> <li>・会議説明資料(資料1、2、3、4、5-1、5-2、5-3、6)</li> <li>・当日配布資料(活発で良い議論ができる会議のために、アンケート調査票)</li> </ul>
出 席 者	<p>【委員】 山崎委員((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員)</p> <p>古田(小林)委員((公社)愛知県バス協会専務理事)</p> <p>植田委員(愛知県タクシー協会理事)</p> <p>近藤委員(名鉄バス(株)計画部長兼運輸計画課長)</p> <p>荒川(田浦)委員(愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事)</p> <p>堀委員(知立老人クラブ連合会会長)</p> <p>小林委員(区長会会計)</p> <p>毛受委員(知立市商工会女性部長)</p> <p>馬場崎委員(公募市民)</p> <p>岡田委員(中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官)</p> <p>桑原(浅井)委員(愛知県振興部交通対策課主幹)</p>

	<p>夏目委員（愛知県安城警察署交通課長）  鈴木委員（愛知県知立建設事務所維持管理課長）  尾崎委員（知立市都市整備部長）  近藤委員（知立市土木課長）  （ ） 氏名は代理出席者</p>
欠席者	<p>寺田委員（知立市身体障害者福祉協議会理事）  櫻井委員（公募市民）</p>
内容（概要）	
<p>1.開会</p> <p>（司 会） 定刻となりましたので、ただいまより平成 29 年度第 2 回知立市総合公共交通会議を開催いたします。本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は 16 名、全委員 18 名の過半数を超えておりますので、当会議は成立していることを報告いたします。それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日お配りした「次第」、「委員名簿」と「座席表」の両面のもの、B-5 版厚紙になります「本日のミニバス利用についてお答えください。」と書いてあるアンケート調査票、冊子になります「活発で良い議論ができる会議のために」、緑色の現行のミニバスガイド、薄いオレンジ色になります新しいミニバスガイドの案になります。そして、事前に送付させていただきました「平成 29 年度第 2 回知立市総合公共交通会議資料」です。</p> <p>それでは、事務局を代表しまして、林市長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>2.あいさつ</p> <p>（市 長） 失礼いたします。本日はご多用の中、第 2 回になります知立市総合公共交通会議にご出席賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>—中略—</p> <p>委員の皆様方のご指導をいただきまして、ミニバスがより利用しやすく、多くの皆様にご利用していただける形にして参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>（司 会） ここで委員の皆様のご紹介をさせていただくところですが、時間の都合の関係により、配布させていただきました名簿及び座席表にてかえさせていただきます。ご了承ください。</p> <p>では、会議に入る前に、本日配布させていただきました「活発で良い議論ができる会議のために」という冊子をお配りしたと思います。この交通会議も今年度から再編成しまして、新たに出発しているところがございますが、交通会議がより有効なものになりますように、この冊子の説明を中部運輸局愛知運輸支局の岡田様よりご説明いただいたと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>（運輸支局） 【活発で良い議論ができる会議のために。に基づき説明】</p>	

(司 会) ありがとうございます。なるべく分かりやすい会議にしていきたいと思います。それでは、次第に沿いまして会議のほうに入っていきたいと思います。報告事項として4件、協議事項として2件の審議についてお願いしたいと思います。市民の皆様にとりましてより便利なミニバスが運行できるよう協議を重ねて参りたいと思いますので、委員の皆様にはご協力いただきたいと思います。それでは、ここからの議事進行につきましては、議長の山崎会長に交代させていただきます。

### 3.報告事項

(議 長) おはようございます。公益財団法人豊田都市交通研究所山崎でございます。今日は知立駅から歩いてここまで来ましたが、汗をたくさんかいてしまいました。そういうときにバスに乗ると涼しくて安心します。市民の方々にとって、いつもは歩くけど、ちょっと今日はバスに乗っていこうと、やすらぎの場になるような存在にバスがなっていくといいなと思います。それでは、次第に沿って進めていきたいと思えます。報告事項といたしまして、(1)「ミニバスの利用状況について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料1に基づき説明】

(議 長) 事務局から報告のありましたミニバスの利用状況について、ご質問・ご意見がありましたらお願いします。いかかでしょうか。

(委 員) 今年度4ヶ月分の数字ということで、どうこうということではないと思いますが、今日は4コース、ブルーコースを利用して市役所まで来ました。乗っていると、小学生の子がウォーターパレスで多く乗降していたのを見かけました。4コースは増加傾向にあるということですが、今後公共交通網形成計画を作成していくうえで、ミニバスはコンパクトなコースになっていると思います。コースごとにそれぞれ目的も違えば、状況も違ってくると思います。分析をして、方策を打ち出していくにあたって、4ヶ月でどうこうということとは言えないと思いますが、今後増えているコース、減っているコースがあるということ进行分析していただいて、今後改正等に生かしていただければと思います。

(事務局) ご指摘のとおり、なかなか分析しきれていない部分もありますが、こういった過去の実績・数値を見ながら、今後網計画を作成に努めてまいりたいと思います。

(議 長) ありがとうございます。他にいかかでしょうか。今のところ、何故か今年度に入ってから4ヶ月間で減少しているのが目立ちますが、今年は実態、状況を把握していくということでお願いします。それでは、続きまして報告事項(2)「平成29年10月1日からの運行事業者について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料2に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委員) 運行事業者の選定にあたって、国が示しているコミュニティバス選定ガイドラインというものがありまして、価格だけではなく、特に輸送の安全を見てくださということも記されています。3ページの評価項目に安全確保策も含まれていて、配点も高く、そういう点も加味して選定していることは良いことだと思います。

また、話が逸れて恐縮ですが、7月にコミュニティバスの事業者の監査を重点的に実施しました。この度選定された事業者どうのこうのという訳ではありませんが、その中で労働時間の問題であるとか、点呼がされていないだとか、そういうところが散見されます。そういった意味合いにおいて、市町村で選定しておしまいはなく、引き続き運営主体として、事業者の把握もお願いしたいと思います。

(議長) ありがとうございます。他にはよろしかったでしょうか。

(委員) 今回の選定で前回同様、名鉄バスさん、大興タクシーさんが選定されたということで、ミニバスガイドを見てみますと、2・3・4コースにおいてはICカードが利用できて、1・5コースは利用できないようですが、地域の住民の方によっては、こういったサービス水準に差が出てきているのではないかと思います。今までそういったことについての市への問い合わせや、市の考えをお話いただければと思います。

(事務局) ICカードの利用につきましては、問い合わせについては年に数件ございまして、1・5コースでは使えないですかといった内容になります。ただ、システムへの登録につきましては、大きな費用がかかるということを知っていますので、現状の企業さんの努力の中でやっていただけるよう形で対応していきたいと考えております。

(議長) 仕組み上なかなか難しい部分もあると思います。名鉄さんが受けているところは、マナカが使えるということで、大興さんの1・5コースは使えないということですが、使えるように何とかして欲しいと強い要望は出てきていますか。

(事務局) どちらかというと、ミニバスにつきましては、定期券が1ヶ月1000円という取り扱いになっていまして、非常にお値打ちな対応をさせていただいており、現金の利用者も半分以下という形になっていますので、それほど大きな苦情・意見は言われておりません。

(議長) 他にはよろしかったでしょうか。それでは引き続き大興さん、名鉄さん、安全第一の運行をよろしく願います。ここで1つ申し上げておきたいことがありまして、今回のプロポーザルにおいて市としても6社に声をかけましたが、手を挙げていただい

たのが各コース1社ずつ、現在の運行事業者のみでした。

何かというと、バス事業者も人手が不足しているということです。バスの運行は安全第一なので、大型2種という難しい免許が必要になります。それも1つの要因として、若い運転手が不足しており、バスだけではなくタクシー業界も高齢化が進んでいます。色んな自治体がバスを走らせていますが、事業者がなかなか見つからない現状があります。仮にいくらお金を積まれても、運行するのは難しいよということを他の地域で聞いたことがありますので、そういったことを踏まえて、事業者さんを大事にしつつ、一緒になってバスを運行して欲しいと思います。それでは、続きまして報告事項(3)「中型バスの購入について」ということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料3に基づいて説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。ちりゅっぴを車両に描くことは考えられますか。

(事務局) 中型バスということでバスの形状が大きくなりますので、どこかにちりゅっぴを載せることができたらと思います。

(委員) このコースは中型バスが走れる道路かどうかは確認済みですか。

(事務局) 試乗させていただきました。知立市のバスは全体的に細い道を通っている路線が多いですが、イエローコースだけは中型バスが走れる路線かつ多くの人が乗車するというところで、今回中型バスの導入を進めています。

(議長) 他にはよろしかったでしょうか。それでは報告事項(4)ミニバスガイドの発行についてということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料4に基づいて説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。このミニバスガイドは全戸配布する予定だったと思いますが、加えてどこか施設に置くことはしますか。

(事務局) まずは9月16日号の広報ちりゅうにミニバスガイドを折込みまして、全戸配布させていただきます。主要な公共施設におきましては、現在も設置しています。また、公共施設だけではなく、民間の病院などにも設置しています。

(議長) そういった施設に置いてあるものについて、どのくらい持っていかれているか把握していますか。

(事務局) どのくらい持っていてもらってるかは分かりませんが、部数が少なくなってきたら

施設ごとに連絡がきて配布する形をとっています。

(議 長) それなりに一度置いた後、部数が減ってきたから配布してくださいという連絡は入るようですね。

(事務局) 連絡は入っています。

(議 長) 他にはよろしかったでしょうか。最近こういったものに広告を載せたりするようなものも見受けられますが、商工会などと連携を図ってみるようなことは今までありましたか。

(事務局) 今の紙面のスペースがちょうど良いサイズであると考えております。見やすく、他に広告を載せるスペースもないぐらいのスペースであるため、現況のままでいかせていただきたいと思います。

(議 長) スペース的にいっぱいということですね。今までのミニバスガイド以外にポケット版のミニバスガイド作られるということで資料にもありますが、少し字が小さいように思えます。ポケット版ということで、精一杯かもしれませんが、何かご意見はありますか。

(委 員) 数字自体は見えますが、各コース一番下の注意書きは読みにくいと感じます。

(委 員) 該当する部分だけでも白塗りにするのも良いかもしれませんね。

(議 長) 印刷が少しよくない箇所もあって、実物だと見方も変わってくるかもしれませんが、ないよりはあった方が良いでしょうと思いますので、なるべく見やすいガイドに仕上げただけであればと思います。他にはよろしかったでしょうか。ここから協議事項に移っていきたいと思います。協議事項(1)地域公共交通網形成計画基礎調査の実施についてということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料5-1～5-3に基づいて説明】

(議 長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委 員) 調査票にはアンケートを受け取った日とありますよね。問3では利用目的を聞いている中、受け取った日だけではなく、時間帯も目的に関係してくるのではないのでしょうか。

(事務局) アンケート調査につきましては、ミニバスの運行開始から最終便まで一日中係員が乗り込んでいます。乗ってくる方全員に調査票を配布していきたいと思います。

(委 員) アンケート調査票の回答は郵送ですか。

(事務局) 郵送での予定です。

(委員) 時間帯によって目的の違いが出てくると思いますが。時間帯も聞いた方がどの時間帯にそれぞれの目的が多いか把握できると思います。

(事務局) ミニバスは通常行って帰ってくる、往復利用が基本かと考えていますが、17ページ中段には「アンケートを複数受け取った方は1部のみご回答ください」という形になっています。例えば係員が一日中乗り込んでいますと、行きでももらって、帰りでももらう人が出てくると思いますが、そういった場合は1部もらっているので結構です。というような形になってくると思っています。そうすると時間帯はどれを書けば良いのかなということになるので、基本的には利用したバスでの回答をいただく予定であります。時間帯の追加につきましては、検討させていただきます。

(議長) 利用者が多いような公共交通を調査するにあたっては、時間帯によっての分析を行う調査もあります。おそらく、利用者の数的にあまり細かい分析は難しいような気もしますが、押さえておけるなら、後々使えるデータになりえますね。

(事務局) 郵送で返答いただくアンケート調査票と先に説明しましたミニバスの利用についてとある簡易アンケートが今回の調査で実施されますが、簡易アンケートにつきましては、乗った方全員に配布するというのもありまして、便ごとにどこから乗ってどこで降りたということが分かるようになっていきますので、その点で時間帯による利用状況を把握したいと思います。

(議長) こちらで把握できるということですね。こちらの簡易アンケートについては、1人何回でも乗った回数だけお答えいただくということですか。

(事務局) はい。

(委員) アンケート調査票と簡易アンケートについてはクロスできますか。それともそれぞれ単体での調査になりますか。

(事務局) 基本的は同一日にアンケート調査を実施する予定ですので、クロスチェックできるように考えています。

(委員) アンケート用紙ごとに番号を振ってそれぞれセットで分析できるということですか。

(事務局) お答えいただいた同一人物でのチェックではなく、比較してでのチェックという意味です。

(議 長) 簡易アンケートの方で、乗ったバス停、降りたバス停が把握できる、いわゆる OD 調査を実施して、目的や個人属性を押さえるのがアンケート調査票ということですね。簡易アンケートで客観的な利用の実態は把握でき、アンケート調査票では意識の調査を把握するような形になっています。

(事務局) 穴を開けるだけの簡易アンケートにつきましては、バス車内で配布して極力 100% に近い回収を目指します。アンケート調査票につきましては、全員に配布しますが、100% に近い回収は不可能ですので、なるべく回収率を上げていきたいと思っています。去年も市民の方 2000 名を対象としたアンケートを実施しましたが、40% 程度の回収率となりました。今回はどの程度になるか分かりませんが、だいたい 40~50% の回収率を見込んでおります。

(議 長) 他にいかがでしょうか。

(委 員) 愛教大線の知立駅でも配布するというので、こちらは始発から終便まで配布するということですか。それとも時間を区切って配布するということでしょうか。

(事務局) 全体の配布数を考慮して検討したいと思います。

(委 員) 調査時期の中で、平日 2 日、休日 1 日の合計 3 日間で行われるということですが、アンケート調査票は当日に配布されると思いますが、平日に利用された方なのか、休日に利用された方なのかを把握するつもりはありますか。例えば、休日に配る調査票は色を変えてなどして対応されますか。

(事務局) 平日か休日かが分かる手段を検討していきたいと思っています。

(委 員) 必要がなければ別にいいかと思いますが、郵送で返ってくるという投函されたかによって、平日だと通勤・通学が多く、休日だとお買い物等での利用が考えられますので、もし必要であれば平日に配ったものなのか、休日に配ったものなのか区別がつくようになればいいと思います。

(事務局) 平日と休日では目的も大きく変わってくると思いますので、検討させていただきます。

(議 長) 今のことに関して私から質問がありまして、愛教大線の方には問 10 「バスの満足度と重要度について」については受け取った路線ということなので、愛教大線についての回答をいただくということですか。

(事務局) そういうことになります。

(議 長) ミニバスと民営の営業路線の比較は面白いですね。問 13 はミニバスのことについて



聞いていますが、愛教大線の方はどのような回答をいただきますか。ミニバスを使っていない愛教大線のみ利用されている方もいるかと思えます。

(事務局) 「ミニバスを利用する場合～」とありますのでそういう判断をしていただければと思います。

(議長) 利用したこともないものの負担金額について回答いただくのは答えにくいと思います。あるいは聞くだけ聞いておいて、該当する箇所については集計の際に愛教大線の回答は省いて集計しても良いかもしれません。

(事務局) どういった回答がくるか現状では把握できませんので、回答の状況を見させていただきたいと思えます。

(議長) 他にいかがでしょうか。事前に資料を配布しているとはいえ、なかなかこの場に出てこない部分もあるかと思えます。前段部分に説明のあった公共交通会議のスケジュールに関しましてはよろしかったでしょうか。

(委員) 今回アンケートや住民懇談会を行う予定の中で、第3回目の課題整理に生かしてくるのか、第4回目の地域公共交通の課題(案)というような形で、アンケートの入力・集計を11月に行って、第3回目の課題整理にある程度反映されてくるのかなと思えます。ただ、日程がタイトに感じますので確認させてください。

(事務局) 10月中旬を目処にアンケート調査を実施していきたいと思っております、回収も10月中を検討していますが、11月末までに集計させていただきまして、第3回目の交通会議に報告してもらいながら、平成30年1月に開催予定の住民懇談会への基礎資料にさせていただければと考えています。

(議長) 他にはよろしかったでしょうか。それでは、ただいまの議案につきましては、審議事項になりますので採決をいただきたいと思えますが、アンケートの内容に関しましては色々意見が出てきたということもあって、ここに載っている案がそのままではないということで事務局で修正していただく形になるかと思えます。このあと、何か気づいた点があれば事務局にお伝えして修正していただくということでもよろしかったでしょうか。

(事務局) ある程度期限を設けながら、一週間程度の中で委員の方からのご要望・ご指摘いただければ、修正した形でのアンケート調査を実施していきたいと思えます。

(議長) 事務局からありましたとおり、アンケートに関しまして何かご意見ありましたら一週間を目処に事務局まで連絡していただき、最終的な調査票は事務局に一任いただくという形で進めていくということで承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。それでは「地域公共交通網形成計画基礎調査の実施について」ということで進めていっていただきたいと思います。続きまして協議事項(2)知立市総合公共交通会議事務局規程(案)についてということで事務局より説明をお願いします。

(事務局) 【資料6に基づき説明】

(議長) ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問はありますか。

(委員) 公印の関係により公共交通会議で協議が整ったという書面を出していただく際に道路運送法の特例的なものの修正がありまして、その時に扱うわけですが、逆に今までは公印をどのように取り扱っていましたか。

(事務局) 昨年度までは、地域公共交通会議として協議をしていまして、会長が知立市長であったため、知立市長印で届出をしていました。今年度から総合公共交通会議ということで新たに会議を設立しましたので、公印を1つ作らせていただけないかというところ です。

(議長) 余談にはなりますが、法定協議会を立ち上げたというところでもあります。先ほど事務局からの説明があったとおり、会計を持たずに協議の場ということ です。他にはよろしかったでしょうか。それでは、ただいまの議案について承認いただける方は挙手をお願いします。

(委員) (全員挙手)

(議長) ありがとうございます。事務局の方で規程の施行をお願いします。以上で議案に挙がっているものは終了となりますが、何か全体を通しましてご意見・ご質問等ありませんか。ここで、冒頭に運輸支局からお話のあったとおり、市民の立場から参加いただい てる方からも盛り上げていただきたく、何でも構いませんのでお話をいただきたいと思 います。

(委員) ミニバス利用者の中で定期券を使って乗車している人はどのくらいいますか。

(事務局) ミニバスの利用者は年間で29万人の方が利用していただいております。定期券での利用は半分程度というところ です。明確な数字は今すぐには出てきませんが、現金利用者は約3割程度だったかと思 います。その他無料券での利用が残りの割合になってくると思 います。市長のお言葉にもありましたとおり、10月から75歳以上の後期高齢

者無料制度、運転免許自主返納者の拡大等の事業を実施していきますので、10月以降は割合にも変化が出てくるかと思います。

(議長) 無料で乗れる人が増えて、運賃収入は減少するかもしれませんが、利用者が増えるということは大きなことです。

(委員) たまたま手元に平成24年12月1日改正のミニバスガイドがありました。5年前も運賃は100円で、定期券は1,000円でした。採算性や老朽化、業者の方の事も考慮していくと、賃金を上げていかないといけないとか、様々な問題があるかと思います。そういったことが知立市にも今後大きくのしかかってくる可能性もあるかと思います。ミニバスを継続していけるように努めてもらいたい。

(事務局) 安心安全な運行が大事だと認識しています。老朽化したバスということやサービスを向上させれば、費用もかさむものですので、市役所全体を考慮し、協議を重ねる会議にしていきたいと思っています。

(市長) 75歳以上の後期高齢者無料化の1つの目的として、高齢者の方の外出支援ということがあります。話は変わりますが、知立市の介護保険の基本料が4,250円となっています。介護保険基本料は3年に一度見直しをかけます。知立市の4,250円は愛知県の中でも5番目に安い保険料の設定となっています。この料金を実現できている最も大きな理由として、健康に過ごしていただいている知立市にお住まいの高齢者が多いということが挙げられます。75歳以上になられた際に、お家に閉じこもってしまうのではなく、外出支援の一環として高齢者運賃無料化事業が浸透して欲しいです。また、高齢者の方の事故が多い中、そういった交通事故防止の視点からも実施させていただきます。

(議長) 高齢者が引きこもらないようにということで、バスを用意するだけでなく、集まる場所や理由を整えることも重要だと思います。交通というのは、あくまで手段であり、目的がないと外出はなかなかしません。まちづくりと併せた計画を進めていただきたいと思います。

(委員) 最初に乗車人数について報告いただきましたが、減少していた部分がありましたが、その中身について、何か思い当たるところがありましたらお願いしたいです。

(議長) 減った理由について、事務局で何となくこんなことではないかということはありませんか。

(事務局) 利用者数が少なくなっていることについて、私どもも危機感を持っています。数年前から人数は増加していましたが、伸び率が鈍くなったのは認識しておりました。統計学

的にはそろそろ頭打ちに近づいてきたとは思っていましたが、今年度になってマイナスが続くとは思っていませんでした。数字を見たときに、原因を考えてみましたが、これだという答えが見つかりません。減っていることの理由について原因が分からないと対策のしようがありませんので、数字を気にしながら動向を見ていきます。明確な理由を示すことができず、申し訳ありません。私どもも危機感を持っていますので、何かアドバイス等ありましたら、お願いいたします。

(議 長) 客観的な数字ではありませんが、現場の運転手さんから見て、何となくいつもここから乗ってくる人を見なくなったとかそういった理由も有りうるかもしれません。毎日乗っていた人が一年間乗らないと往復も含めて何百人と減少します。事業者さんも何か思い当たることがありましたら、市に伝えてあげてください。他によろしかったでしょうか。それでは、議題は全て終了いたしましたので、事務局にお返ししたいと思います。

(事務局) ありがとうございます。また色んなご意見・アドバイス聞かせていただきまして、参考にしていきたいと思えます。他に本日の議題とは関係なくとも、聞いてみたいことはありますか。それでは、本日の知立市総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。本日はお忙しい中ありがとうございました。